「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

　　　　　　　　　日時　　平成28年7月19日（火）9:00～11:10

　　　　　　　　　場所　　松江市立来待小学校

　　　　　　　　　対象　　生徒　　　5名

　　　　　　　　　指導者　教職員　　2名

　　　　　　　　　　　　　埋蔵文化財センター職員　1名

１．主題　　　縄文・弥生人の生活を知ろう～古代食作り体験～

２．ねらい

　○古代の人々の生活の様子に興味・関心を持つ。

　　○古代食作りの体験を通して、古代人の食生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

３．展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 指導者の支援・配慮事項 | 分担 |
| 5分  15分  10分  60分  20分  15分  5分 | 今日の学習の流れを確認しよう  縄文時代や弥生時代の人々の生活について知ろう（教室）  ・縄文・弥生時代が今からどれくらい前の時代かを確認する。  ・どのような食べ物を食べていたのか  を知る。  休憩  古代食作りに挑戦しよう（調理室）  　・赤米の炊飯  　・どんぐりハンバーグ作り  　・炊飯の時間を利用して火起こし  体験をする。  古代食を試食しよう（調理室）  片づけをする。  感想を発表する。（教室） | ・講師の紹介をする。  ・学習の内容やねらいを説明する。  ・指導者がパワーポイントなどの視覚的教材を使って生徒の興味・関心を高めることができるように配慮する。  エプロンを着て移動  ・古代食の炊飯方法、どんぐりハンバ  ーグのつくり方について説明する。  ・安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。 | 教科担当  職員  職員  教科担当  全員 |

※準備するもの

（学校・生徒）　　パソコン、プロジェクター、長机、調理器具、食器、食材（生もの）

　　　　　　　　　エプロン、マスク、筆記用具

（埋文センター）　食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料、火起こしセット

アンケート用紙等